

社会福祉法人 福音会 共同生活援助 コーポラスいちの

令和8年度 第1回 地域連携推進会議 施設見学

日時：令和8年9月26日(土)10時～

場所：福音会法人本部1階

見学場所：コーポラスいちの

横田ホーム

たのし荘

さくら荘

会議次第

時間	内容	
10:00 ～	開会	司会 サービス管理責任者 青木紀子
	理事長挨拶	理事長 青木繁昌
	自己紹介	
	概要説明	1. 地域連携推進会議について サビ管 青木 2. 社会福祉法人福音会 概要について 3. コーポラスいちのサービス内容について 4. 利用者の生活の様子について
	施設見学	
	移動	① いちの 小作田字西館87 ② 横田ホーム 小作田字山ノ坊21-2 ③ たのし荘 芦田塚203-6 ④ さくら荘 西ノ内町67
	感想・質疑	
12:00	閉会	

地域連携推進会議構成員

	構成員	氏名	所属・役職
1	ご利用者	本田恵子	さくら荘入居者
2	ご家族	橋本廣明	横田ホーム入居者保護者
3	地域関係者	関根徳栄	須賀川市役所職員
4	福祉に知見のある方	佐藤澄江	社会福祉士

会議参加職員

	氏名	役職
1	青木繁昌	福音会理事長
2	青木紀子	サービス管理責任者
3	中山美津子	生活支援員・世話人
4	根本則子	生活支援員・世話人

地域連携推進会議とは

- ・ 施設等と地域が連携することによって、以下の目的を達成するために、施設が、利用者、利用者ご家族、地域の関係者などで構成した会議を開催したり、会議の構成員が施設等に訪問したりします。

地域連携推進会議

目的

事業所と地域との連携により…

利用者と地域との関係づくり

地域の人への施設等や利用者に関する理解の促進

サービスの
透明性・質
の確保

利用者の
権利擁護

内容

- 施設による会議の開催
 - ・ 構成員との情報共有・意見交換
- 構成員による施設訪問
 - ・ 職員や利用者との関係づくり
 - ・ 事業所の環境や事業運営の確認

※ 会議・施設訪問は、それぞれおおむね1年に1回以上開催します。

地域連携推進員の手引き

本手引きは、地域連携推進員が施設等を訪問する際、どのような視点で訪問すべきかについて記載しております。

施設等への訪問は、地域連携推進員が施設の利用者や職員の隣人として関わりを深めていくためのきっかけとして役立てていただくことが大切です。私たちが、知人や隣人の家を訪問する場合にも、相手の生活に対する敬意や節度、礼儀をもって訪問すると思います。地域連携推進員として施設等を訪問する場合も、そこが利用者にとっては生活の場であることを忘れず、同様の敬意や節度、礼儀を払って訪問することが必要です。

地域連携推進員の役割は、施設等が行うサービスや利用者の暮らしを評価することではありません。施設等を訪問し、気になることがあった場合は、施設等の職員や連携推進会議の場で、丁寧に伝えていただけたらと思います。もし、障害者虐待防止法に定める障害者虐待に気づいた場合は、気づいた人には市町村へ通報する義務がありますので、必ず施設等が所在する市町村の障害福祉担当課へ通報をしてください。

施設等を利用する方々の暮らしや、日々の思いに少しでも寄り添って頂くために参考にしていければ幸いです。

訪問の意義

訪問する際に最も大切なのは、施設等の利用者、職員との関わりを深めていくことです。訪問後に、道や街中で利用者や職員に会ったとき、お互いに挨拶や言葉を交わすことができるような関係を作ることができたら、地域連携推進会議の目的である地域との連携にとって、大きな成果といえることができるでしょう。

施設等の中では、利用者が生活されています。プライバシーを尊重しながら見せていただくことが鉄則です。

もし、共用スペースや利用者の部屋にごみが散らかっていたり、利用者の身だしなみが乱れていたり、利用者が何かに怯えているような感じがしたりなど、気になることがあった場合は、何か理由があるかもしれませんので、職員に丁寧に尋ねてみるか、地域連携推進会議の場で質問して、確認してください。

利用者の障害特性によっては、視覚的な刺激や音に過敏なため、装飾がなく物が少なく殺風景に感じる場合があるかもしれません。気になったことは、職員に尋ねていただくことにより、施設等や利用者の生活への理解がより深まると思います。

(利用者について)

- ・利用者の服は清潔が保たれているか。
- ・利用者が怯えているような印象はないか。
- ・利用者の表情は楽しそうか。

(職員について)

- ・職員は、利用者を尊重した態度で接しているか。
- ・職員が、利用者に対して威圧的な態度や言葉遣いではないか。

<利用者への質問（例）>

(施設等について)

- ・あなたは、住んでいるグループホーム（入所施設）を気に入っていますか。
- ・ご自分の居室は過ごしやすいですか。

(日常生活について)

- ・今の生活には満足していますか。
 - ・毎日の食事はどうですか。
 - ・お風呂はきちんと入れていますか。
 - ・食事やお風呂などの時間は、その日の都合で変えることができますか。
 - ・お休みの日はどのように過ごされていますか。
 - ・今、困っていたり、悩んでいることはありますか。
 - ・何をしている時が楽しいですか。
 - ・（日中サービス支援型グループホームの場合）日中はどのように過ごしていますか。
- ※「日中サービス支援型グループホーム」は、障害者の重度化・高齢化に対応するために創設された類型のグループホームで、日中も利用者がグループホーム内で生活をされている場合が多いです。訪問する際は、日中はどのように過ごしているか、についても確認してみてください。

(人間関係について)

- ・職員との関係はどうですか。
- ・同じ施設の仲間との関係はどうですか。
- ・困った時に相談できる人はいますか。

(地域との関わり)

- ・外出するときは、どんなところに行きますか。
- ・地域の中に好きな場所がありますか。
- ・行ってみたい場所がありますか。
- ・地域の中で取り組んでみたいことがありますか。

ホーム

法人概要

施設・サービス紹介

採用情報

お問い合わせ・ご相談



施設・サービス情報



介護老人福祉施設 シオンの国



障がい者支援施設 宇津峰十字の国



相談支援事業所 Almond



就労移行支援 就労継続支援B型 ワークセンター表



生活介護 就労継続支援B型 カノン



グループホーム

社会福祉法人 福音会 法人本部

〒962-0727
福島県須賀川市小作田字油田7-2
TEL・FAX：0248-79-3009

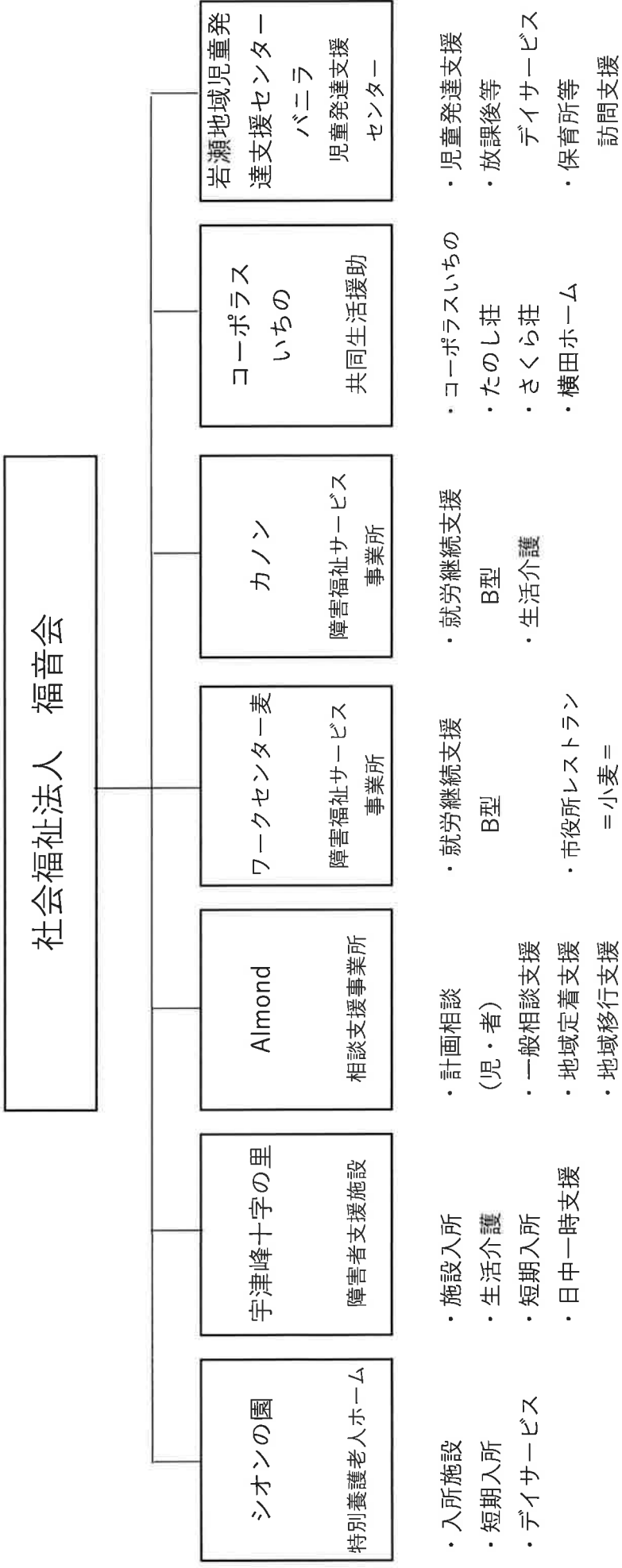
ホーム
お知らせ

法人概要
・理事長あいさつ
・法人概要
・情報公開

施設・サービス紹介
・シオンの国
・宇津峰十字の国
・Almond
・ワークセンター表
・カノン
・コーポラスいちの
・パピラ

採用情報
個人情報保護方針

お問い合わせ・ご相談
サイトマップ



事業者	事業所名	共同生活援助事業所 コーポラスいちの
	経営事業者	社会福祉法人 福音会
	所在地	福島県須賀川市下小山田字月夜田203
	電話番号	0248-79-3009
	代表者氏名	理事長 青木 繁昌（アオキシゲマサ）
	設立年月日	昭和63年8月18日
主たる対象者		知的障がい者

事業の目的 及び運営の方針	ご利用者の意思・人格を尊重しご利用者の立場に立った適切な共同生活援助の提供を確保する。 - 適切な運営を確保するために必要な人員と規定を定め、かつ関係法令を遵守し、円滑な運営管理を図る。 - ご利用者の身体・精神の状況に応じた食事・環境・相談を適切かつ効果的に行う。
------------------	---

職務内容	管理者	事業全体の運営管理の統括
	事務員	事業所内の労務管理及び請求事務
	サービス管理責任者	個別支援計画の作成及びサービス提供の把握と世話人及び生活支援員への支援及びご利用者の相談受付 金銭管理の確認 研修・勉強会の実施
	世話人	食事提供や小遣い及びホームの金銭管理、維持管理。 ご利用者の相談支援、余暇支援、取り組み支援及び記録
	生活支援員	ホームの食事の提供、維持管理。ご利用者の相談支援、余暇支援、身体介護、取り組み支援及び記録
サービス内容	基本的な生活(食事・洗濯・衣服・整容・掃除・整頓など)に係る支援。日中活動に係る支援(連絡調整) 余暇支援。社会生活にかかわる支援(社会資源の利用・人間関係・安全・健康など)及び相談援助と情報の提供	

コーポラスいちの 共益費 月額 明細表

名称	家賃	食材費	光熱水費	日用品費	合計
コーポラスいちの	24,000	23,000	12,000	2,000	61,000
たのし荘	15,000	23,000	12,000	2,000	52,000
さくら荘	25,000	23,000	12,000	2,000	62,000
横田ホーム	15,000	23,000	12,000	2,000	52,000

ご利用者 一日の流れ

ご利用者		職員	
5:00		☐	
6:00	起床・洗顔・着替え	☐	世話人出勤・食事調理・健康観察
7:00	朝食	☐	食事提供・服薬確認・片付け
8:00	通所準備・事業所へ出所	☐	身だしなみチェック・掃除
9:00	日中事業所利用	☐	記録
10:00		☐	
11:00		☐	
12:00		☐	
13:00		☐	
14:00		☐	食材・日用品の買い物
15:00	帰宅	☐	現金確認・帳簿記入
16:00	入浴・洗濯	☐	帰宅時の健康観察・連絡帳確認
17:00		☐	食事調理
18:00	夕食・歯磨き・着替え	☐	食事提供・服薬確認・片付け
19:00		☐	記録・安全点検・世話人退勤
20:00		☐	
21:00		☐	
22:00	就寝	☐	
23:00		☐	
0:00		☐	

いちの



たのし荘



横田ホーム



さくら荘



令和 8 年度 地域連携推進会議議事録

日時 令和 8 年 9 月 26 日（土）10：00～12：00

場所 福音会法人本部 1 階

出席者 ご利用者 1 名

保護者 1 名

社会福祉士 1 名

コーポラスいちの 青木理事長・サビ管青木・世話人支援員 中山・根本

1、開会・挨拶

青木理事長より、開会のあいさつがあり、地域連携推進会議の趣旨について説明。

2、自己紹介

出席者全員で自己紹介を行った。

3、概要説明

・地域連携推進会議について

サビ管より資料を読み上げて目的と内容を説明した。

地域連携推進員の手引きより、ホーム訪問のポイントを確認した。

・法人及びコーポラスいちの概要について

福音会組織図

・サービス内容について

事業の目的、運営の方針、職務内容、サービス内容、共益費

・ご利用者の生活の様子について

一日の流れ、食事の様子

4、施設訪問

いちの → 横田ホーム → たのし荘 → さくら荘

5、閉会

青木理事長より、御礼。次回会議の予定を後日連絡する事を伝える。

閉会の挨拶。

◎ホーム訪問の様子

- ・構成員に各ホームで、業務日誌、申し送り記録を見ていただいた。
- ・ご利用者の許可をいただいて、居室を見せていただいた。
- ・昼食の用意がしてあったので、見ていただいた。
- ・推進員とご利用者との会話

居室に貼ってあるアイドルポスターの話

見ていたテレビの話

日中事業所の話。

当番や役割りの話。

◎構成員より感想

- ・去年、「いちの」の食卓の椅子が壊れそうだったと思ったが、改善されていた。
- ・女性の部屋がそれぞれ女の子らしくて、見ていて楽しかった。
- ・女性のご利用者で、去年より表情が豊かで明るくなっていた方がいて良かった。
- ・ご利用者の個性が生かされていて、意思決定支援がされていると感じた。
- ・保護者として、本人は楽しく生活していると思う。

◎管理者より

- ・ご利用者の方々も、2回目の訪問で少し慣れたと思う。
構成員の方とお話する事を楽しみにされていた方もいた。